

英語

◆概要◆

文法問題の小問数が増え、配点が変わるなど、問題構成や出題形式に昨年度からの変更が見られました。文法や表現の基礎知識を活用し、思考力、作業力を伴う英語のコミュニケーション能力が求められています。

県の出題のねらいは「会話や説明を聞いて話し手の意向を正確に捉える力、会話や説明を聞いて概要や要点を的確に捉える力、語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を適切に活用する力、英文を読んで理解したことに基づいて正確に書く力、英文や資料から必要な情報を読み取る力、英文を読んで概要や要点を的確に捉える力」について基本的な力と応用的な力について総合的にみることにしています。

読解問題の総語数は 1,678 語[1,780 語]（以下 [] 内は昨年度）で、昨年度からわずかに減少しました。速読力・精読力・思考力をしっかり訓練することが必須です。

◆大設問ごとの出題傾向と難度◆

- 問 1：リスニングテスト問題です。(ア)(イ)は、会話から場面をイメージする力が問われました。(ウ)は、まとまりのある内容の要点を正確に捉えることに加え、選択肢の言い換え表現を正しく読み取る必要がありました。
- 問 2：語彙に関する対話文形式の適語選択問題です。選択肢だけでなく対話文の語彙のレベルも高難度のものが多く、教科書で扱われている語彙を英文の中で正しく使えるようにしておく必要があります。
- 問 3：文法、熟語に関する対話文形式の適語選択問題です。問題数は昨年度より 2 題増えました。中学 1 年から 3 年までの内容がバランスよく出題されています。(エ)は、対話の場面を正しく理解した上で、条件節を表す if と仮定法の if の違いを正しく理解しておく必要があり、高難度の問題でした。
- 問 4：対話の場面をイメージし、文脈にふさわしい英文を組み立てる問題です。問題数は昨年度より 1 題増えました。英語の文構造、語法、品詞の正確な理解力と、熟語の知識が求められました。(ウ)は、分詞の後置修飾の問題で、現在分詞と過去分詞の使い分けが必要な難度の高い問題でした。文法知識や重要表現を自分の言葉で説明できるようになっていることが望まれます。
- 問 5：3 枚の絵から場面にあふさわしい表現を考えて英文を書く問題です。条件で示されている 2 語と相手の返答、絵の内容を手がかりに、質問されている内容を正しくイメージする力が必要でした。現在完了の継続用法の期間をたずねる疑問文を作る基本的な問題でしたが、主語が第三者であることを正しく理解できていたかがポイントでした。
- 問 6：出題形式に大きな変化が見られました。(ア)は、「英語による職場体験」というテーマに関する英文と資料を照合して読み取る問題で、(イ)は、(ア)の内容を受けてのお礼状の英文でした。総語数は 427 語[603 語]でした。(ア)は、言い換え表現を正しく読み取る語彙力が求められました。(イ) No. 1 は、与えられた 1 文を本文中の適切な箇所に挿入する問題で、新しい傾向の出題でした。(イ) No. 2 は、本文内容の要点を正しく読み取る問題でした。
- 問 7：資料を含む文の読解問題が 2 題出題され、総語数は 535 語[458 語]でした。(ア)は、対話文と資料を照合して読み取る問題でした。Question の文にある条件を見落とさずに読む必要がありました。(イ)は、電子書籍の貸し出しシステムに関する Memo と 6 人の Comments の内容を一つずつ照らし合わせる作業が必要とされる、新しい傾向の出題でした。空所を含む 1 文を正しく読み取り、その条件にあふさわしい内容の真偽を読み分ける思考力に加え、文法知識の活用力が必要とされる良質な問題でした。
- 問 8：会話文のテーマは「生成 AI との関わり方」で、総語数は 716 語[719 語]でした。(ア)は、必要な情報を資料と照合する作業を短時間で処理する必要がありました。内容一致問題は、小問 1 題から小問 2 題に変更されました。教科書約 5 ページ分相当のまとまりのある英文を文脈に沿って理解する力と、選択肢の言い換え表現を正しく読み取る力が求められました。